



国労せんだい

こくろうせんだい
速報版

No.2602

2011年4月25日

発責 橋本 昭二

編責 武田 昌仙

喜多方・米沢で当選！

組織内候補者

長沢かつゆき・我妻とくお

3期目の当選果たす

統一地方選挙の後半戦といわれる、各地方の市町村議会選挙が4月24日に行われた。

福島県喜多方市議会選挙では、長沢勝幸氏（左写真の右側）が、また山形県米沢市議会選挙では我妻徳雄氏（下写真の中央）が、それぞれ見事に3度目の当選を果たした。

今地方自治体選挙には、国労議員団6人中5人が再選に挑んだ（佐藤幸夫郡山市議は勇退を決意）



佐藤団長、橋本委員長が駆けつけた



激励に必勝を誓う我妻氏

が、震災の影響を受けて岩手や宮城、福島各県は震災の影響を受け、その殆ど

の選挙が特例法による延期となった。福島では喜多方市を含む5つの選挙のみ実施、山形県は延期はなかった。

陣中見舞いへ

4月17日の告示日、佐藤幸夫国労議員団団長と地本橋本委員長、五十嵐書記長の3人は、地方本部組織内候補者である両陣営に激励に訪れた。今回の選挙は、震災の影響から「自粛選挙」という異様なムードの展開であった。

た。告示日当日、喜多方では、選挙カーはおろか、ハンドマイクも使用しないという、一見選挙らしさが感じられない状況であったが、両陣営ともに工夫をしながら選挙運動を展開。

米沢の我妻氏は、「行き過ぎた自粛は経済を疲弊させる。平常を取り戻し、経済を活性化させ、元気な米沢を作ろう。そして支援を行おう」と持論を主張。

「ミスターフットワーク」のニックネーム通り、連日市内を駆け巡り政策を訴えた。

3候補者の必勝を

国労議員団の組織内候補者については、今回の長沢・我妻両氏の他に下記の議員が選挙戦を控えています。

特例法によって延期（最大6ヶ月）されていますが、当選に向けて全力を挙げよう、関係する組合員の取組みの強化を要請します。

闘いの結果

【選管最終】

◇喜多方市

定数26 | 候補者数27

当 長沢勝幸氏

785票
第25位

◇米沢市

定数24 | 候補者数26

当 我妻徳雄氏

1806票
第7位

◇仙台市

石川けんじ候補者
現在3期目

◇会津若松市

松崎 新候補者
現在2期目

◇鏡石町

円谷ひろし候補者
現在6期目